

住友商事 / 総合商社への理解を深めていただくために

総合商社は世界的に見ても大変ユニークなビジネスモデルであり、IR活動等を通じその業態・活動内容についてのご質問をよく頂戴します。これに対する皆様のご理解を深める一助として当社の活動の変遷、ビジネス創出の源泉等について説明させていただきます。

当社のビジネス活動は時代にあわせて変化・発展し、その時々々の社会のニーズにあわせた役割を果たしてきました。戦後の復興期においては貿易立国を目指す日本の貿易部門、国際部門として輸出・輸入業務中心にビジネスを展開してきました。

高度成長期には海外資源関連への投資、大型インフラプロジェクトの推進、生活水準の向上に伴う都市開発や住宅供給事業等のビジネス展開を図りました。

80年代以降は幅広い分野で世界の各地域に根を張った事業展開を行うとともに、情報通信、バイオ等新分野の開拓を積極的に行ってきています。

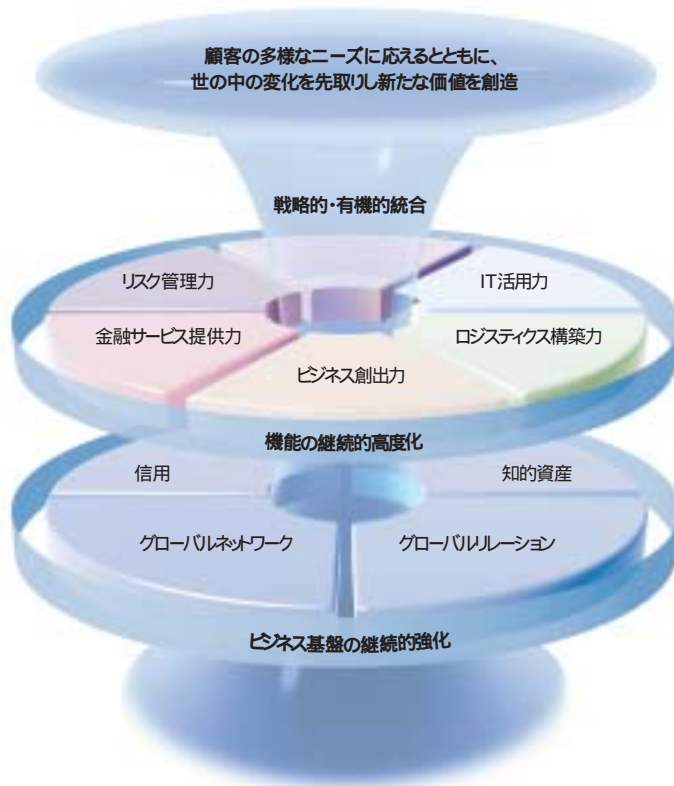
このように時代、社会のニーズに応える形で当社が発展してこられたのは常に信用を重んじるとともに優秀な人材を活用してきたことによるものです。また幅広い産業分野における取引先との関係や全世界をカバーする拠点網といったビジネス基盤を強化するとともに取引先に提供する機能を常に変化・高度化させてきたからです。

10万社に及ぶ取引先との関係であるグローバルリレーションや全世界約180拠点の店舗網と事業投資会社群から構成されるグローバルネットワークを有していることが総合商社としての当社の強みであり、ユニークさです。これだけのビジネス基盤を有しているということは今までの当社の活

動実績を示すものであり、我々の誇りでもあります。各分野での個別のビジネスについては選択と集中を図りながらも、このように全ての産業分野・地域で活動しているからこそ様々なビジネスチャンスをつ捉えることが可能となります。またリスク管理能力、金融サービス提供力、ロジスティクス構築力、IT活用力といった長年のビジネス経験を通じて身に付け、磨いてきた機能を常に高度化することによりビジネスを着実に遂行することができます。

こうしたビジネス基盤と機能を取引先・顧客のニーズにあわせて戦略的・有機的に統合し、新たな価値を創造する力が「総合力」であり、当社のコアコンピタンスとして位置付けています。この総合力を発揮し、次ページ下のチャートにあるように多様なタイプのビジネスを創出しています。また、こうしたビジネスを複合的に組み合わせることにより取引先・顧客の幅広いニーズに応えていくことが可能となります。

コアコンピタンス= 総合力



例えば資源開発に関連するビジネスでは現地の開発会社へ投資するとともに、プロジェクトファイナンスを組成し、開発用資機材の供給、産出物の輸送を行います。そして市場開拓の上、日本及び第三国への販売を展開しています。

自動車関連ビジネスでは、自動車メーカーへの設備の納入、部品の供給から始まり、完成車の日本からの輸出、海外での輸入・卸売、事業投資による小売店経営、顧客へのファイナンスサービス等を組み合わせることにより有機的なビジネス展開を行っています。

バイオテクノロジー関連ビジネスでは専門子会社を通じてバイオ創薬支援サービスを提供するほか、欧米のベンチャー企業からバイオ関連設備や技術の輸入販売を行っています。またバイオベンチャーファンドを組成しキャピタルゲインの獲得や新規技術の発掘を行うなど、関連するビジネスを

相互に連携させながら本分野におけるビジネスを広げています。

また、事業投資により有望分野の製造事業をグループ会社化し、経営者の派遣等を通じて業績を向上させるとともに、あわせて原料供給、製品の市場開拓・販売等関連するビジネスも行っています。

このように当社は多種多様なビジネスを展開していますが、その源泉が総合力であるという点については全て共通しています。具体的なビジネスについては「事業部門別営業の概況」のページで紹介しています。これをあわせて読んでいただければ当社ひいては総合商社に対するご理解をさらに深めていただけたと思います。

当社のビジネスの多様性

